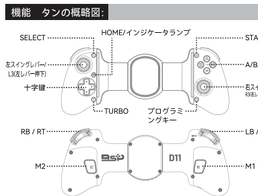
BSP-D11

ワイヤレスコントローラ説明書

機能　タンの概略図：



用説明：

1、本製品は人体工学設計を採用し、手触りが快適である。
2、延伸収縮機能があり、長さ143 ~ 260 mmの携帯電話を延伸収納することができる。
3、Bluetooth 5.2 EDR/BLE接続を採用し、ハンドルはBluetoothを通じて携帯電話などの各ホストと接続する。
4、ShootingPlusアプリをサポートし、アプリは各携帯アプリ市場を通じてダウンロードできる。
5、アンドロイドと鴻蒙HID標準モードをサポートし、HID標準モードをサポートする各種ゲームセンターゲームをプレイすることができる。
6、Android 6.0以上のシステム（ShootingPlus Android モード）をサポートする。
7、iOS 13.0以上のシステムMFIゲームをサポートし、MFIゲームはShanWan MFI appでダウンロードできる。
8、PS 3/PS 4/SWITCHゲーム本体のBluetooth接続ゲームをサポートし、ジャイロスコープ機能を有する。
9、Windows 10システムノートパソコンのBluetooth接続をサポートし、X-Inputゲームをプレイする。
10、USBケーブルに対応し、PC/PS 3/SWITCHのゲームをプレイすることができる。
11、ハンドルは携帯電話にGamepadSpace APPをダウンロードしてインストールすることによってファームウェアのアップグレードと追加機能の修正と設定を行うことができる

★携帯電話システムの問題で、個別の携帯電話はこの機器に対応していない可能性があります。
★公式ゲームプラットフォームのソフトウェアアップグレードやソースコード変更などの不可抗力要因により、一部のゲームが本製品と接続操作できなくなり、当社はいかなる責任も負いません。これに対して当社は最終的な解釈権を留保している。

製品特性　ラメータ：

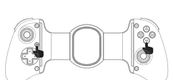
1、動作電圧：DC 3.7 V
2、動作電流：約10 mA
3、持続使用時間：>20 H
4、休眠電流：<5 uA
5、充電電圧/電流：DC 5 V/500 mA
6、プルートゥース伝送距離：<=8 M
7、電池容量：350 mAh
8、待機時間：満電60日間放置

本製品を使用する場合は、デバイスを横方向に配置したままにし、カメラが左にあることを確認し、ゲームのキーをデフォルト設定に戻してください。

製品使用説明：

アンドロイドShootingPlus モード（鴻蒙システムとアンドロイドShootingPlus モードは同じ）：

「A」を押したままにして、「HOME」ボタンを押し、2秒後にV 3アンドロイドモードに入り、ハンドルランプが点滅し、アンドロイド携帯電話が「BSP-D 11」デバイス名を検索した場合、接続を選択します。接続が成功すると、ハンドルLEDは常に【あか】に点灯します
正常に接続されました。ホームキーを直接押すことができ、
LEDがゆっくり点滅し、自動的に接続を探すことができます。



Android/鴻蒙キーマッピング機能：

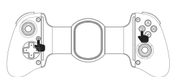
公衆番号「ShootingPlus」に注目し、公衆番号内のデフォルト操作説明を見て、マッピングキーを設定する必要がある場合は、「ShootingPlus」アプリをダウンロードしてインストールし、アプリ内でキーマッピングとキー調整を行ってください。

ShootingPlus App、アンドロイドと鴻蒙システムは各携帯アプリ市場でダウンロードできる。

ShootingPlus

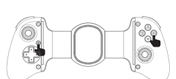
Android標準モード：

「X」を押して放さず、「HOME」ボタンを押して、標準Androidモードに入り、ハンドルランプがフラッシュし、Android/鴻蒙携帯電話が「BSP-D11」デバイス名を検索したとき、接続を選択します。接続に成功すると、ハンドルLEDは常に【オレンジ】に点灯します。
正常に接続されました。ホームキーを直接押すことができ、LEDがゆっくり点滅し、自動的に接続を探すことができます。
Android/鴻蒙標準モードでは、さまざまなゲームセンターをダウンロードし、プラットフォームに入って必要なゲームをダウンロードすることができます。



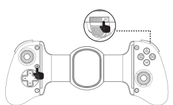
iOS MFIモード：

「B」を押したまま、「HOME」ボタンを押し、2秒後にiOS MFIモードに入り、ハンドルLEDが点滅し、アップルの携帯電話で「DUALSHOCK 4 Wireless Controller」デバイス名が検索されたら、接続を選択します。接続に成功すると、ハンドルLEDは常に点灯します【パープル】。
正常に接続されました。ホームキーを直接押すことができ、LEDがゆっくり点滅し、自動的に接続を探すことができます。
MFIゲームはShanWan MFIアプリでダウンロードできます。



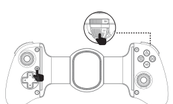
PC X-input Bluetoothモード：

「RB」を押して放さず、「HOME」ボタンを押して、2秒後にパソコンのBluetoothモードに入り、ハンドルのLEDが点滅し、パソコンを開いてBluetoothデバイスを追加し、検索をクリックして、「Xbox Wireless Controller」デバイス名を見つけたら、接続を選択します。接続に成功すると、ハンドルLEDは常に【シアン】に点灯します。
正常に接続されました。ホームキーを直接押すことができ、LEDがゆっくり点滅し、自動的に接続を探すことができます。



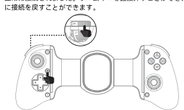
SWITCHモード：

SWITCHホストでは、ハンドルControllers->グリップ/シーケンス変更ChangeGrip/orderを選択し、SWITCHのストペアリングモードインタフェースPress L+R on the controllerに進みます。「RT」を押して放さないで、更に「HOME」ボタンを押して、2秒後にSWITCHモードのペアリングに入って、ランプが点滅して、ペアリングが成功してハンドルランプが常に点灯している【グリーン】。
正常に接続されました。ホームキーを直接押すことができ、LEDがゆっくり点滅し、自動的に接続を探すことができます。



PC 2.4 Gパソコン受信機モード：

「LB」を押して放さず、「HOME」ボタンを押して、2秒後にパソコンモードに入り、ハンドルランプがフラッシュして、PC接続モードで、パソコン受信機がパソコンに差し込まれます。接続に成功すると、ハンドルLEDは常に【シアン】に点灯します。
正常に接続されました。ホームキーを直接押すことができ、LEDがゆっくり点滅し、自動的に接続を探すことができます。



コンピュータ受信機
【パソコンを差し込む】

有線モード：

1. 有線モードで各システムプラットフォームを自動的に識別し、サポートできるシステムプラットフォームはアンドロイド、PC（D-inputとX-input）、PS 3とSwitchである。
2. PCでは、「HOME」キーを2秒間押すとPC/PS 3モードとXBOX 360モードを切り替えることができます。
3. iOS 16.0以上のシステムでは、「START」ボタンを押したままUSB接続のiOSパソコン、iOS携帯電話、iOSタブレットを挿入することができます。iOS有線モードです。
4. アンドロイド携帯電話システムの下で、「TURBO」を押しながらUSB接続アンドロイド携帯電話/タブレットを挿入し、X-input有線モードにします。

TURBO設定：

「A」を押して「T」を押すと、「A」キーTurbo連発
2回目に「A」を押して「T」を押すと、「A」キーが自動的に連続します
3回目に「A」を押して「T」を押すと、「A」キーで連続を閉じる（元に戻す）

「A」キーがAUTOで自動的に連続する場合、「TURBO+左ロッカー上下」を押しながら自動連続の速度を設定します。それぞれ1秒15、1秒25、1秒8です。（注：その他のファンクションキーの設定方法は同上）

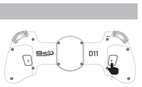
モータ振動力調節：

TURBO+右ロッカーバーの上下を押すと、モーターの振動力を弱めます

ABXYキー値交換機能：

ハンドル「Y」+「A」+「HOME」を押したまま、ABXYキー値はPCレイアウトキー値とSwitchレイアウトキー値で交換できます。

マクロ　ロ　ラミン　：



【バックグラウンドマクロ拡張設定】

①ハンドルの「プログラミングキー」を押したまま、「M 1」を押すとランプが点滅します。これは設定モードです
【M 2設定方法は同上】
②設定モードがオンになるとランプが点滅し、その時にボタンを設定でき、ハンドルがどのボタンを押すとM 1がタンに入力されます。例：Aキーを押すと、AはM 1に入力されます【このキーは列挙、他のキーも入力できます】
③複数のボタンを設定する必要がある場合：Aを押してからBを押してXを押してからYを押して、M 1を押して放を出す顔書はA B X Yである【このボタンの設定は列挙：その他の技の顔書はすべて12個のABXYと上下左右/L2L/R2/2Rを設定することができる】
④キーを押し終わったら、M 1を押すとプログラミングが完了し、LEDが常に点灯します。

【バックマクロクリアボタン】

ハンドルの「プログラミングキー」＋「M 1」キーを同時に押してプログラミングモードに入ると、ランプが点滅し。その時に入力しないで、再び「M 1」キーを押すと、M 1キーの前に設定されていたキー値を削除できます。

ハンドルの充電/スリー　/ウェイクアッ　機能：

1、ハンドル充電機能：
低電力時には、LEDがが点滅します。
充電中、LEDがゆっくり点滅することを示すメッセージ。
満タンになると、ハンドルがオフになります。

2、ハンドルのスリープ/起動/シャットダウン機能：
A、ハンドルは5分以内にボタン操作がない場合、自動的に電源を切って休眠する。
B、再使用が必要な場合はホームキーを押して起動すると再接続できます。
C、電池を入れた状態で、ホームボタンを8秒間長く押して、製品は電源を切り、すべてのLEDランプは消灯した。

操作使用モード：

Bluetoothモード：

適用システム	Android/鴻蒙システム		iOSシステム
動作モード	ShootingPlus V3	Android 標準モード	iOS MFIモード
パターンペア（長押し2秒）	A+HOME	X+HOME	B+HOME
ステータスLED	あか	オレンジ	パープル
コメント	アンドロイド市場でダウンロードしたゲームをプレイする	アンドロイドHIDゲーセンゲームをする	MFIゲーム ShanWanMFI Appをプレイするとダウンロードできます

コンピュータ受信機およびデータケーブルモード：

Applicable system	パソコン/PC /Bluetooth	PC 2.4G	PS3 / PS4 / PS5	Switch
パターンペア（長押し2秒）	RB+HOME	LB+HOME	USBケーブルを差し込む	RT+HOMEまたはUSBプラグ
ステータスLED	シアン	シアン	ブルー	グリーン
コメント	X-inputゲームをする	X-inputおよびD-inputゲームをプレイする	PS 3/PS 4ゲームをプレイする	Switchゲームをする

*コンピュータにはオプションのコンピュータ受信機が必要

注　事項：

1、本製品を湿気や高温の場所に保管しないでください。
2、製品に不必要な振動を与えないように、たたいたり、転んだり、棒を打ったり、刺したり、分解しようとしたりしないでください。
3、製品には電池が内蔵されているので、ゴミと一緒に捨てないでください。
4、火や他の熱源に近い場所でハンドルを充電しないでください。
5、専門外の人は本製品を分解しないでください。そうしないと、アフターサービスではありません。

製品リスト：

ワイヤレスハンドル *1　　説明書 *1　　TYPE-C USB *1

FCC Caution:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

-- Reorient or relocate the receiving antenna.
-- Increase the separation between the equipment and receiver.
-- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
-- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction.